



stcli datastore コマンド

ストレージクラスタデータストアの操作。

stcli datastore [-h] {list | create | info | update | delete | mount | unmount}

構文の説明	オプション	必須またはオプション 説明
	create	セットのいずれかが必要。 指定された名前とサイズでストレージクラスタデータストアを作成します。
	delete	セットのいずれかが必要。 ストレージクラスタデータストアを削除します。
	info	セットのいずれかが必要。 指定されたストレージクラスタデータストアに関する情報を提供します。
	list	セットのいずれかが必要。 ストレージクラスタデータストアをリストします。
	mount	セットのいずれかが必要。 ストレージクラスタデータストアをマウントします。
	unmount	セットのいずれかが必要。 ストレージクラスタデータストアをアンマウントします。
	update	セットのいずれかが必要。 ストレージクラスタデータストアの名前やサイズを更新します。

コマンド デフォルト なし。セット内の1つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli datastore コマンドでは、{}で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[]で囲まれた引数を任意に指定できます。

- [stcli datastore create コマンド \(2 ページ\)](#)
- [stcli datastore delete コマンド \(2 ページ\)](#)
- [stcli datastore info コマンド \(3 ページ\)](#)

■ stcli datastore create コマンド

- [stcli datastore list コマンド \(3 ページ\)](#)
- [stcli datastore mount コマンド \(3 ページ\)](#)
- [stcli datastore unmount コマンド \(4 ページ\)](#)
- [stcli datastore update コマンド \(4 ページ\)](#)

stcli datastore create コマンド

指定された名前とサイズでストレージ クラスタ データストアを作成します。

stcli datastore create [-h] --name NAME --size SIZE [--unit {kb | mb | gb | tb}] [--blocksize {8k,4k}]

構文の説明	オプション	必須またはオプション 説明
	--blocksize	オプション。 格納されるデータのブロック サイズ。 すべてのデータストアでデフォルトは 8K です。 VDI ワークロードでは、4K がデフォルトです。
	--name NAME	必須です。 ストレージ クラスタ データストアの名前。
	--size SIZE	必須です。 ストレージ クラスタ データストアのサイズ。
	--unit {kb,mb,gb,tb}	オプション。 サイズの単位。 デフォルトは GB です。

コマンド デフォルト ID または NAME を指定する必要があります。 デフォルトの測定単位は GB です。 デフォルトのブロック サイズは 8K です。

使用上のガイドライン stcli datastore create コマンドでは、必須のパラメータを両方とも指定するほか、必要に応じてパラメータを任意に指定できます。

stcli datastore delete コマンド

ストレージ クラスタ データストアを削除します。

stcli datastore delete [-h] {-id ID | --name NAME}

構文の説明	オプション	必須またはオプション 説明
	--id ID	セットのいずれかが必要。 データストアの ID。
	--name NAME	セットのいずれかが必要。 データストアの名前。

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli datastore delete コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli datastore info コマンド

指定されたストレージクラスタデータストアに関する情報を提供します。

stcli datastore info [-h] {--id ID | --name NAME}

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	--id ID	セットのいずれかが必要。	データストアの ID。
	--name NAME	セットのいずれかが必要。	データストアの名前。

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli datastore info コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli datastore list コマンド

ストレージクラスタデータストアをリストします。

stcli datastore list [-h]

コマンド デフォルト 指定できるオプションはありません。

使用上のガイドライン stcli datastore list コマンドを実行し、[] で囲まれた引数を任意に追加できます。

stcli datastore mount コマンド

ストレージクラスタデータストアをマウントします。

stcli datastore [-h] {--id ID | --name NAME}

■ stcli datastore unmount コマンド

構文の説明	オプション	必須またはオプション 説明
	--id ID	セットのいずれかが必要。データストアの ID。
	--name NAME	セットのいずれかが必要。データストアの名前。

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli datastore mount コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli datastore unmount コマンド

ストレージクラスタデータストアをアンマウントします。

stcli datastore unmount [-h] {--id ID | --name NAME}

構文の説明	オプション	必須またはオプション 説明
	--id ID	セットのいずれかが必要。データストアの ID。
	--name NAME	セットのいずれかが必要。データストアの名前。

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli datastore unmount コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli datastore update コマンド

ストレージクラスタデータストアの名前やサイズを更新します。

stcli datastore update [-h] {--id ID | --name NAME} [--newname NEWNAME] [--size SIZE] [--unit {kb | mb | gb | tb}]

構文の説明	オプション	必須またはオプション 説明
	--id ID	セットのいずれかが必要。データストアの ID。

オプション	必須またはオプション	説明
--name NAME	セットのいずれかが必要。	データストアの名前。
--name NAME	オプション。	ストレージ クラスタ データストアの新しい名前。
--size SIZE	オプション。	ストレージ クラスタ データストアの新しいサイズ。
--unit {kb,mb,gb,tb}	オプション。	サイズの単位。デフォルトは GB です。

コマンド デフォルト

なし。セット内の 1 つのオプションが必要。デフォルトの単位は GB です。

使用上のガイドライン

stcli datastore update コマンドでは、必須のパラメータを指定し、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

■ stcli datastore update コマンド